

アドバイザリーボードによる外部評価

2017年12月20日 アドバイザリーボードによる外部評価を実施しました。

外部評価委員は下記の通りです。

所属	お名前（敬称略）
滋賀医科大学元学長・滋賀県顧問	吉川 隆一
日本認知症学会理事長	秋山 治彦
大原薬品社長	大原 誠司

日時と場所

2017年12月20日（水） 午後2時から4時（予定）

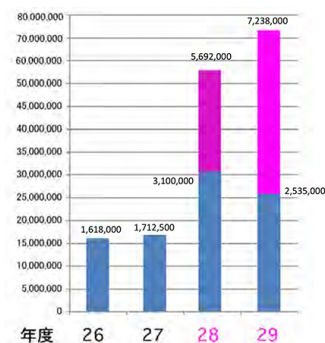
各ユニットの発表を 各20分 + 質疑 各10分

総合討論 30分

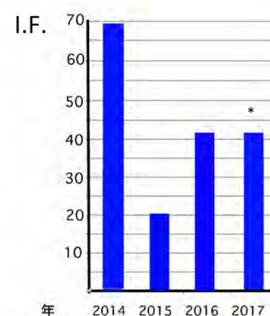
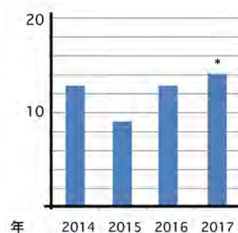
場所 滋賀医科大学 管理棟中会議室

評価資料の一部（参考）

外部資金（青：科学研究費補助金、ピンク：AMEDほか）と 国際学術誌への発表、国際交流
（いずれも2017年11月1日現在）



論文数



【国際シンポジウム開催】

2016年4月16日 第21回MNRC国際シンポジウム 滋賀医科大学
2016年8月29日 第14回アジア太平洋州神経化学会公募シンポジウム
クアラルンプール、マレーシア
2016年10月28日 第22回MNRC国際シンポジウム 滋賀医科大学
2017年10月30日 第23回MNRC国際シンポジウム 滋賀医科大学

【その他】

2017年8月23日-9月30日、文部科学省官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」の奨学金を得て、研究医の高畑翔吾君（4年生）を米国サンヘルス研究所とアリゾナ州立大学に派遣。



第23回MNRC国際シンポジウム
(2017年10月30日)



評価結果

評価項目	秋山委員	吉川委員	大原委員	各委員によるコメント
1-1.神経難病研究センターの運営組織は、成果目標に照らし合わせて、適切なものか。	A ⁺	A	A	(秋山委員) 規模は小さいが、他の大学等の同様の組織と比べて焦点を絞った質の高い研究を実現できる体制が整備されている。 (大原委員) 組織は適切にオーガナイズされていると思います。
1-2.神経難病研究センターの運営組織は、社会のニーズを適切に反映しているか。	A ⁺	A	A ⁺	(秋山委員) 認知症は社会における最大の課題であり、そこに正面から挑戦している点が特筆される。神経難病としてALSを取上げている点、ニーズを優先させたテーマ選択として評価できる。 (大原委員) 残されたブラックボックスの脳の神経難病に取り組まれている。社会のニーズそのものと思われる。
1-3.国際的及び国内的な連携体制は、確立されているか。	A	A	A	(秋山委員) アジアとの連携は今後の日本のあるべき姿として重要であり、そこに重点が置かれていることは大変良い。欧米との連携は基盤が構築された段階と見受けられる。これから成果が積み上がると期待される。 (大原委員) きっちりと確立され、連携されている。
2.研究費を獲得するために、積極的な取り組みが行われているか。	A	A ⁺	A ⁺	(秋山委員) 現状の日本の研究費配分を考えると十分な努力がはらわれていると判断される。 (大原委員) 論文数、質も素晴らしく、又、特許出願も適切に行なわれている。
3.研究成果や進捗状況は、順調であるか。	A ⁺	A	A ⁺	(秋山委員) 規模、予算に対して大きく上回る成果が上がっており、スタッフの努力によるとと思われる。 (吉川委員) Nature、Scienceを期待したい。 (大原委員) 順調であると思います。
4.若手研究者の育成状況及び取り組みは、適切なものか。	A	A	A	(秋山委員) アジアからの留学生受入れ、学部学生の参加など、さらに促進すべき若手医師研究者が全国的に不足しており、この点は本センターも力を入れていただきたい。 (吉川委員) 学部学生の参画は評価したい。
5.その他特記事項				(大原委員) 大学院生の育成及びその指導方法も適切である。 (吉川委員) 人材育成の成果、特に外国人留学生(研究員)のその他の活躍ぶりを調査、評価しては如何ですか。 (大原委員) 非常に素晴らしく、将来大学発のベンチャーも期待したい。特にターゲットのしぼり方はエクセレント!
総合評価	A ⁺	A	A ⁺	(秋山委員) 国内で他に见ない、社会ニーズを正確にとらえてテーマを設定した研究組織であり、多くの大学・研究組織が(ニーズ無視で)成果を上げることが優先する傾向がある中、模範とすべき活動をしていると考えられる。本センターのような研究の進め方が、全国に拡がることを希望する。 (吉川委員) 組織体制、目標設定、研究費獲得、論文発表等全て高く評価できる。また学部学生等若手の参画が見られる点ははずばらしい。 (大原委員) 素晴らしい取り組みである。組織オーガナイズ能力も含め、適切に行われ、今後の成果を是非期待しております。

【個別項目別評価】 評価基準 A⁺ (特に優れている)、A (優れている)、B (普通)、C (努力が必要)、D (特に努力が必要)

【総合評価】 評価基準 A⁺ (特に優れている)、A (優れている)、B (普通)、C (努力が必要)、D (特に努力が必要)